

平成 15 年 3 月期

第 3 四半期連結業績概要

平成 15 年 2 月 12 日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス 上場取引所 東 名
 コード番号 4732 本社所在都道府県 愛 知 県
 (URL <http://www.ussnet.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 服部 太
 問合せ先責任者 役職名 統括本部財務部長 氏名 山中雅文 TEL 052 - 689 - 1129
 米国会計基準採用の有無 無

1. 15 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
15 年 3 月期第 3 四半期	24,240 (-)	11,469 (-)	11,586 (-)
14 年 3 月期第 3 四半期	- (-)	- (-)	- (-)
14 年 3 月期	26,008	11,345	10,859

	第 3 四半期 (当期) 純利益	1 株当たり第 3 四半期 (当期) 純利益
	百万円 %	円 銭
15 年 3 月期第 3 四半期	6,120 (-)	225. 28
14 年 3 月期第 3 四半期	- (-)	-
14 年 3 月期	5,489	205. 68

- (注) 1. 当第 3 四半期の数値につきましては、監査法人による会計監査を受けておりません。
 2. 四半期連結業績の開示は、当第 1 四半期より実施しております。
 3. 売上高、営業利益、経常利益、第 3 四半期 (当期) 純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を表示しておりますが、四半期決算の開示は当期より実施したため、対前年同期増減率の記載は行っておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15 年 3 月期第 3 四半期	80,923	42,172	52.1	1,540. 43
14 年 3 月期第 3 四半期	-	-	-	-
14 年 3 月期	80,929	34,402	42.5	1,282. 45

(3) 連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結子会社数 12 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 1 社

(4) 連結範囲および持分法の適用の異動状況

連結 (新規) 4 社 (除外) 社 持分法 (新規) 社 (除外) - 社

2. 15 年 3 月期の連結業績予想 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	32,000	13,850	7,500

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 274 円 22 銭

(注) 上記の連結業績予想は平成 14 年 9 月中間期決算公表時のものを記載しております。

3. 連結業績の概況

当第3四半期における日本経済は、設備投資に下げ止まりの兆しがみられるものの、失業率が高水準で推移するなど雇用情勢は依然として厳しく10～12月は個人消費が下降傾向を示すなど、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

自動車業界は、新車登録台数（前年同期比0.5%減）、中古車登録台数（同0.3%増）となるなど相変わらず厳しい環境下にありました。しかしながら、中古車オークションは中古車流通市場における取引所としての機能を一層強め、業界の総出品台数は451万台（前年同期比5.0%増）と堅調に推移しました。

このような経営環境下において、当社グループは、オークション出品車両の収容能力の増強およびシステム改良による処理能力の強化を図るとともに、業務提携を積極的に進めるなど一層の営業基盤の強化を図ってまいりました。

なお、当第3四半期に実施いたしました主な施策は以下のとおりであります。

当社の中核事業でありますオートオークション会場運営につきましては、地域密着に努め、会員向けサービスの質の向上を図るとともに、新規会員獲得キャンペーンの強化などにより地域ごとに圧倒的シェアを獲得する「地域一番会場戦略」を積極的に推進しております。

一昨年11月に開業いたしました大阪会場もイベントを実施した昨年6月には2,000台以上のオークションを開催するなど着々と関西地区における地歩を築きつつあります。

当社グループは衛星ネットワークを強化・拡大するため、株式会社ハナテン、協同組合東京中古車流通センター、株式会社ジップと衛星TV端末による中古車オークション会場への直接応札システム(Sシステム)に関する提携を結び、提携会場のオークションを衛星TV中継しております。これら提携8会場の加盟する「USSグローブネットワーク」を軸に新規会員獲得キャンペーンを実施し、衛星TV会員数のさらなる拡大に取り組んでおります。

中古車オークション事業とのシナジー効果の高い中古車買取事業「ラビット」は12月末現在の店舗数が全国で500店舗を突破し、買取ネットワークをさらに充実させました。

昨年10月に子会社としました株式会社ワールドコミュニケーションズのもつ事故現状車の買取り、販売のノウハウを活かし、リサイクルオークションの拡大・強化に取り組んでおります。

これら営業努力により、当第3四半期における出品台数はグループ全体で115万台（前年同期比17.4%増）、成約台数は61万台（同17.2%増）となりました。

この結果、連結売上高は24,240百万円、連結経常利益は11,586百万円、連結第3四半期純利益は6,120百万円となりました。

4. 通期の見通し

平成14年11月18日付けにて公表の通期の見通しは、連結売上高32,000百万円、連結経常利益13,850百万円、連結当期純利益7,500百万円であります。

5. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成14年12月31日現在)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金および預金	20,631,066		21,477,972	
2. オークション貸勘定	3,635,046		8,839,844	
3. 受取手形および売掛金	840,478		328,497	
4. たな卸資産	365,416		216,395	
5. その他の流動資産	1,248,973		831,347	
貸倒引当金	180,661		71,790	
流動資産合計	26,540,319	32.8	31,622,265	39.1
固定資産				
(1)有形固定資産				
1. 建物および構築物	11,575,887		11,986,505	
2. 土	30,546,991		26,541,904	
3. 建設仮勘定	4,715,292		3,880,765	
4. その他の有形固定資産	1,134,738		1,278,186	
有形固定資産計	47,972,908	59.3	43,687,361	54.0
(2)無形固定資産				
1. 連結調整勘定	412,882		162,438	
2. その他の無形固定資産	645,602		735,553	
無形固定資産計	1,058,484	1.3	897,991	1.1
(3)投資その他の資産				
1. 投資その他の資産	5,406,274		4,755,869	
貸倒引当金	54,965		34,079	
投資その他の資産計	5,351,308	6.6	4,721,790	5.8
固定資産合計	54,382,702	67.2	49,307,143	60.9
資産合計	80,923,021	100.0	80,929,409	100.0
(負債の部)				
流動負債				
1. オークション借勘定	3,227,490		8,638,813	
2. 1年内償還予定社債	-		568,480	
3. 短期借入金	3,071,948		2,080,680	
4. 未払法人税等	2,780,290		2,342,280	
5. 賞与引当金	57,464		147,887	
6. その他の流動負債	3,299,935		3,834,824	
流動負債合計	12,437,129	15.4	17,612,965	21.8
固定負債				
1. 転換社債	18,377,000		20,000,000	
2. 長期借入金	4,784,209		6,209,320	
3. 退職給付引当金	103,270		85,579	
4. 預り保証金	2,491,404		2,301,360	
固定負債合計	25,755,884	31.8	28,596,260	35.3
負債合計	38,193,013	47.2	46,209,226	57.1
(少数株主持分)				
少数株主持分	557,178	0.7	318,137	0.4

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成14年12月31日現在)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資本の部)		%		%
資 本 金	-	-	6,348,785	7.8
資 本 準 備 金	-	-	10,287,385	12.7
再 評 価 差 額 金	-	-	3,136,492	3.9
連 結 剰 余 金	-	-	21,102,284	26.1
その他有価証券評価差額金	-	-	199,680	0.2
自 己 株 式	-	-	236	0.0
資 本 合 計	-	-	34,402,045	42.5
資 本 金	7,579,783	9.4	-	-
資 本 剰 余 金	11,541,584	14.3	-	-
利 益 剰 余 金	26,235,989	32.4	-	-
土 地 再 評 価 差 額 金	3,136,492	3.9	-	-
その他有価証券評価差額金	42,234	0.1	-	-
自 己 株 式	5,801	0.0	-	-
資 本 合 計	42,172,829	52.1	-	-
負債、少数株主持分および資本合計	80,923,021	100.0	80,929,409	100.0

(2) 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期連結会計期間 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕			前連結会計年度の要約連結損益計算書 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕		
	金額		百分比	金額		百分比
売上高		24,240,425	100.0		26,008,607	100.0
売上原価		8,148,338	33.6		9,011,614	34.6
売上総利益		16,092,087	66.4		16,996,993	65.4
販売費および一般管理費						
1. 広告宣伝費	777,001			1,010,322		
2. 販売促進費	799,172			910,315		
3. 貸倒引当金繰入額	72,901			34,043		
4. 役員報酬	213,221			314,178		
5. 従業員給料・賞与	1,094,755			982,971		
6. 賞与引当金繰入額	84,642			69,866		
7. 減価償却費	177,569			249,140		
8. 租税公課	118,049			720,832		
9. 連結調整勘定償却額	81,818			82,783		
10. その他の	1,203,048	4,622,179	19.1	1,277,137	5,651,592	21.7
営業利益		11,469,908	47.3		11,345,400	43.7
営業外収益						
1. 受取利息	3,265			8,582		
2. 不動産賃貸収入	38,354			40,856		
3. 受入補償金	22,004			31,839		
4. 洗車料収入	17,312			24,021		
5. 受取手数料	54,800			23,640		
6. 雑収入	122,752	258,489	1.1	117,318	246,257	0.9
営業外費用						
1. 支払利息	106,004			196,817		
2. シンジケート団借入金手数料	9,128			17,631		
3. 社債発行費償却	-			423,294		
4. 持分法投資損失	5,051			9,817		
5. 雑損	21,575	141,760	0.6	84,638	732,199	2.8
経常利益		11,586,637	47.8		10,859,459	41.8
特別利益						
1. 固定資産売却益	1,047			1,071		
2. 貸倒引当金戻入益	34,706			38,314		
3. 債務免除益	37,800					
4. 前期損益修正益	-			11,896		
5. その他特別利益	150	73,704	0.3	57,946	109,228	0.4
特別損失						
1. 固定資産売却損	371			525,274		
2. 固定資産除却損	11,145			8,391		
3. 役員退職慰労金	24,000			205,811		
4. 投資有価証券評価損	415,197			168,184		
5. その他の特別損失	12,664	463,378	1.9	-	907,662	3.5
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		11,196,963	46.2		10,061,026	38.7
法人税、住民税および事業税		4,910,169	20.3		4,302,204	16.5
少数株主利益		166,425	0.7		269,129	1.1
第3四半期(当期)純利益		6,120,367	25.2		5,489,692	21.1

(注) 当第3四半期の税効果については簡便法により算出しております。よって「法人税等調整額」は、「法人税、住民税および事業税」に含めて表示しております。

平成 15 年 3 月期第 3 四半期 連結決算参考資料

1. 連結業績

(単位：百万円)

	(参考) 14 年 3 月期	15 年 3 月期		
	第 3 四半期	第 3 四半期	増減率	通期予想
売上高	18,757	24,240	29.2%	32,000
営業利益	8,210	11,469	39.7%	13,800
経常利益	7,726	11,586	50.0%	13,850
第 3 四半期(当期)純利益	3,743	6,120	63.5%	7,500

2. 種類別連結営業収益

(単位：百万円)

	(参考) 14 年 3 月期	15 年 3 月期		
	第 3 四半期	第 3 四半期	増減率	通期予想
出品手数料	6,157	6,884	11.8%	8,980
成約手数料	4,129	4,913	19.0%	6,343
落札手数料	4,525	5,440	20.2%	7,021
商品売上高	1,364	3,380	147.8%	4,793
その他の営業収入	2,581	3,620	40.2%	4,861
合計	18,757	24,240	29.2%	32,000

3. 連結業績分析

オートオークション業界の大規模会場への出品車両の集中化傾向が進む中、名古屋会場、東京会場の出品台数が引き続き増加いたしました。また、「地域一番会場戦略」を推進しております地方会場におきましても札幌会場をはじめとして順調に出品台数を確保することができました。この結果、オークション出品台数はグループ全体で 115 万台（前年同期比 17.4%増）成約台数は 61 万台（同 17.2%増）となりました。また、平成 14 年 10 月に子会社化した事故現状車の買取販売業を営む(株)ワールドコミュニケーションズの寄与もあり、売上高は 24,240 百万円（前年同期比 29.2%増）と大幅に増加いたしました。

売上原価は売上高の増加に加え、「ラビット」直営店の中古車買取増に伴う商品仕入高の増加などにより 8,148 百万円（前年同期比 23.0%増）販売費および一般管理費は、人件費の増加などにより 4,622 百万円（同 17.9%増）となりましたが、営業利益は 11,469 百万円（同 39.7%増）と大幅に増加いたしました。

社債発行費償却の減少（前年同期は転換社債発行による社債発行費償却 423 百万円計上、前期ですべて償却済）により営業外費用が大幅に減少したため経常利益は 11,586 百万円（前年同期比 50.0%増）と大幅に増加いたしました。また、第 3 四半期純利益も 6,120 百万円（前年同期比 63.5%増）と大幅に増加いたしました。

(注) 1. 平成 15 年 3 月期第 3 四半期および平成 14 年 3 月期第 3 四半期の業績につきましては、監査法人による会計監査を受けておりません。

2. 平成 14 年 3 月期は、第 3 四半期の業績を開示しておりません。ご参考として記載しております。

3. 平成 15 年 3 月期の通期予想は、平成 14 年 9 月中間期決算公表時（平成 14 年 11 月 18 日）のものを記載しております。